

企業組合 かほく冷たい肉そば研究会



- 所在地: 西村山郡河北町谷地 ● TEL: 0237-72-2455 ● FAX: 0237-84-6233
- URL <http://www.tsumetaiikusoba.com> ● 設立: 平成25年3月1日 ● 出資金: 150千円
- 組合員数: 14名 ● 主な事業: 冷たい肉そば及び河北町特産品等の共同販売 など

企業組合かほく冷たい肉そば研究会は、河北町発祥の郷土食「冷たい肉そば」を河北町ブランドとして全国に発信し、「まちおこし」を行うため、町内の有志が集まり設立された。

冷たい肉そばのルーツは、大正時代に居酒屋でお酒のつまみとして出されていた馬肉をお客さんが「シメのそば」にかけて食べたことがきっかけとなり、なじみの客から注文される人気の裏メニューとなった。

昭和に入り、河北町では養鶏場が多いため、鶏肉が多くなり、鶏肉が多くなった。冷たい肉そばの出前が多かったことが理由のひとつとなっている。

今年の10月18日、19日、福島県郡山トとして認知されている「B-1グランプリ」され、2日間で約45万人が来場した。

B-1グランプリに出展するには、愛Bり、はじめは、準会員として支部に加盟、元気にしようという志をもって活動を正会員になることで、はじめて出展資格

イベント当日は2日間とも天候にも恵み出展4度目にして59団体中、8位入賞はじめ、高校生や福島大学の学生らボ場では、ご当地グルメの他、河北町の魅選手権体験コーナーやおやどり姉妹パフォーマンスが披露され大いに盛り上



かったため馬肉から鶏肉となった。「冷たこともあり、麺がのびずに食べられる

市にて日本最大級のまちおこしイベント「東北・福島応援特別大会」が開催

リーグの本部加盟会員である必要があり日常的な食のまちおこしを通じ地域を行っていること。また、理事会の承認でが与えられる。

まれ、「かほく冷たい肉そば研究会」は、を果たした。スタッフとして河北町民をランテニア含めて136人が参加した。会力をアピールのためスリッパ卓球世界（そば研の笑顔交流大使）によるパがった。

● 組合事務局さんインタビュー

B-1グランプリは365日の中の2日間。日々の活動のお披露目の場である。残りの363日は、全国へ向けて如何に周知活動を行ったかが重要であり、いかに知名度を上げ食べてみたいと思わせるかが入賞に深く関わっていると感じる。B-1グランプリの来場者は当日までに自分が食べるメニューを決めて来る方が多い。では、どのように知名度をあげるか。我々は年間を通し30回以上全国で出展形式の地域PR活動を行っている。それだけでなく、河北町PRツールの一つとしてオリジナル商品を開発販売し、インターネット通信販売を活用したPRを行っている。同時に地域内でまちおこし活動への理解、普及に務めることが応援者を増やす事になると考える。例えば昨年、河北町で開催したご当地グルメでまちおこしを行うイベント「山形ご当地グルメフェスティバルin2013」には、遠くは山梨県甲府市や秋田県内から同じ志を持った10団体が出展し地域の盛り上げに協力してくれた。加えて町内各団体、個人、行政等がボランティアとして2日間でのべ525人もが携わりご来場者をもてなした。結果2日間で来場者数は2万5千人の方が河北町に来町し大成功を取めた。このイベント開催を契機に町内での理解者が増加し、町内の団体や関係機関との風通しの良い関係が作られ、以前に比べ相互の情報交換がよりスムーズに行われるようになった。その結果、互いの活動に積極的に協力する体制が作られた。また、地域の小中高等学校にも協力してもらい、地域おこしについての出前授業やかほく冷たい肉そばの振舞い等を行っている。こういった日々の地域活動や出展によるまちおこし活動がマスコミ等で年間70回以上取り上げられ全国へ向けてのPRとなり、知名度を上げる要因となった。日々の積み重ねが全国から選ばれる団体、メニューと成長できたことが入賞という結果に結びついたのではないかと考える。